

2(1) 令和元年度病床機能報告の確認結果について

イ 今後、病床の医療機能を変更予定の医療機関について

1 第12回鹿児島保健医療圏地域医療構想調整会議(R2.10.12) 協議結果

＜病床の医療機能を変更予定の医療機関の取扱（鹿児島保健医療圏）＞

「回復期又は慢性期」から「高度急性期又は急性期」、「慢性期」から「回復期」へ病床の医療機能を変更予定の医療機関について、病床数に関わらず、変更理由等の書面回答を求め、議長及び高度急性期・急性期専門部会長又は回復期専門部会長に相談の上、疑義の有無に応じて以下により取り扱うこととする。

- (1) 疑義のあるもの：専門部会（又は調整会議）への出席及び説明を求め、協議する。
- (2) 疑義のないもの：専門部会（又は調整会議）で書面により協議する。

対象医療機関

- 「回復期又は慢性期」から「高度急性期又は急性期」へ変更（2医療機関）
鹿児島徳洲会病院，鹿児島大学病院
- 「慢性期」から「回復期」へ変更（3医療機関）
小田原病院，高田病院，きいれ浜田クリニック

2 変更理由等の照会

- ・ R2.10.26 調整会議議長名で対象医療機関へ文書回答を依頼。回答はP3のとおり。
- ・ 疑義の有無について、議長，高度急性期及び急性期専門部会長，回復期専門部会代表へ相談

【 相談結果 】

- (1) 高度急性期又は急性期へ変更予定の医療機関について、
疑義あり（出席を求める）：鹿児島徳洲会病院，鹿児島大学病院

＜ 急性期への変更について疑義ありとした理由 ＞

（鹿児島徳洲会病院）令和元年6月の調整会議で意見をとりまとめた移転時の医療機能別の病床数と異なっているため。

（鹿児島大学病院）現在過剰である急性期病床への変更であるため。

- (2) 回復期へ変更予定の医療機関について、
疑義なし（出席を求めない）：小田原病院，高田病院，
きいれ浜田クリニック

＜ 回復期への変更について疑義なしとした理由 ＞

- ・ 現在過剰である慢性期から不足している回復期への変更であるため，また，それらの医療機関において，現時点で回復期機能相当の医療需要の増大が見込めているため。

3 各専門部会における協議結果

- (1) 高度急性期又は急性期へ変更予定の医療機関について
第7回高度急性期及び急性期専門部会（R2.11.19）において対象医療機関の出席を求め，説明・質疑を実施

医療機関名	第7回高度急性期及び急性期専門部会の意見
鹿児島徳洲会病院	移転時点の医療機能別の病床数を2025年も維持する報告としていただき，変更が必要な場合は移転後に改めて調整会議で御説明いただきたい。
鹿児島大学病院	妥当と考える

※ 当該医療機関に対して協議結果を通知済み。（R2.11.25 高度急性期及び急性期専門部会長名，P4～5）

※ 協議結果を受け，鹿児島徳洲会病院は，以下のとおり報告されたことを確認済み。

高度急性期10床，急性期120床，回復期60床（20床増），慢性期120床（20床減）
（令和元年6月第9回調整会議の協議結果のとおり）

- (2) 回復期へ変更予定の医療機関について
第3回回復期専門部会（R2.11.30付け書面開催）により協議を実施

医療機関名	第3回回復期専門部会の意見
小田原病院	現在過剰である慢性期から不足している回復期への変更であること，また，それらの医療機関において，現時点で回復期機能相当の医療需要の増大が見込めていることから，「妥当」なものと認める。
高田病院	

※ 当該医療機関に対して協議結果を通知済み。（R2.12.8 回復期専門部会代表名，P6～7）

※ きいれ浜田クリニックは，病床機能報告の記載誤りで，2025.7.1時点も慢性期のままとする予定のため，協議対象から除外。

イ 今後、医療機能を変更予定の医療機関

※ 事務局において、趣旨が変わらない範囲で文言を修正、または医療機関の了承を得た上で、文言を追加しています。

1 「回復期又は慢性期」から「高度急性期又は急性期」への変更

医療機関名		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	変更時期及び理由(概要)
鹿児島徳洲会病院	R1.7.1現在	10	120	40	140	310	(変更時期)2025年地域医療構想調整会議 (変更理由) ・慢性期療養病棟(20床)の回復期への変更の計画に伴い、移転後、南薩地域及び地域医療機関の急性期病床のニーズや状況に合わせて慢性期(120床)のうち66床を高度急性期、急性期への変更を計画するもの。 ・移転に伴う地域医療構想調整会議でご提案させていただいたが、現段階ではまだ構想の段階であり、今後当院の病床機能をよく分析し、地域医療構想調整会議に諮り判断していきたいと考えている。
	2025.7.1時点	16	180	60	54	310	
鹿児島大学病院	R1.7.1現在	524	68	20	0	612	(変更時期)令和4年4月1日 (変更理由)令和2年度診療報酬改定により、特定機能病院は回復期リハビリテーション入院料を算定できなくなったため(経過措置により令和4年3月31日までは算定可)、特定機能病院入院基本料7対1入院基本料を算定するために急性期に変更予定。 ・なお、病床機能報告で集計できない病床中の50床あり。
	2025.7.1時点	524	88	0	0	612	

2 「慢性期」から「回復期」への変更

医療機関名		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	変更時期及び理由(概要)
高田病院	R1.7.1現在	0	0	71	108	179	(変更時期)令和3年2月1日 (変更理由) ・病院移転に伴う病床再編により、慢性期12床を回復期へ変更予定。 ・なお、2025.7.1現在の回復期病床83床のうち、48床は地域包括ケア病棟35床と療養病棟13床の混合病棟。病床機能報告は、主たる病棟機能を選択しなければならないため、この混合病棟は回復期で報告している。2025.7.1現在の回復期83床から13床差し引いた70床が実際の回復期機能であるため、R1.7.1現在よりも回復期機能は1床減になると考えている。
	2025.7.1時点	0	0	83	96	179	
小田原病院	R1.7.1現在	0	0	0	99	99	(変更時期)令和7～8年 (変更理由) ・開業当初より、理事長の専門領域である消化器科・外科の救急医療を中心として病床機能を維持していたが、人口構造の変化と理事長が公職のための上京が多くなったことに伴って、暫定的に慢性期病床へと移行して現在に至る。 ・手術室をはじめ、回復期病床としての機能を果たすべく、必要な医療機器類も具備している。 ・理事長が4～5年後には中央の公職を退く予定であり、5～6年後を目途に慢性期から回復期病床への転換を考えている。
	2025.7.1時点	0	0	44	0	44	
きいれ浜田クリニック	R1.7.1現在	0	0	0	16	16	令和元年度病床機能報告の記載誤り。2025.7.1時点も慢性期16床のままとする予定。
	2025.7.1時点	0	0	16	0	16	
	2025.7.1時点【修正後】	0	0	0	16	16	

令和2年11月25日

鹿児島徳洲会病院長 様

鹿児島保健医療圏地域医療構想調整会議
高度急性期及び急性期専門部会長

鹿児島保健医療圏地域医療構想調整会議第7回高度急性期・急性期専門部会の協議結果について（依頼）

地域医療構想の推進につきましては、日頃から御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、令和2年11月19日に開催した標記専門部会に際しましては、御多用のところ貴院から御出席及び御説明をいただき、ありがとうございました。

当専門部会の協議結果につきまして、下記のとおりお知らせしますのでよろしくお願いたします。

記

貴院におかれては、令和元年度病床機能報告で令和元年7月1日時点から2025年7月1日時点に向けて、高度急性期6床増、急性期60床増、回復期20床増、慢性期86床減の予定と報告しておられますが、地域医療構想調整会議では2025年の医療機能ごとの必要病床数に近づけていくために調整を進めているところであり、また令和元年6月18日の調整会議において、貴院の移転開設に際しては、高度急性期（10床）及び急性期（120床）は現状の病床数を維持し、回復期（40床）は現状より増やす方向、慢性期（140床）は現状より減らす方向とすることが妥当との意見をとりまとめ、貴院にも御了解いただいているところです。

つきましては、病床機能報告では移転時点の医療機能別の病床数を2025年も維持する報告としていただき、変更が必要な場合は移転後に改めて調整会議で御説明いただくようお願いいたします。

なお、令和2年度病床機能報告を既に御報告済みの場合も、11月30日まで再度報告が可能であることを申し添えます。

<事務局>

〒899-2501 日置市伊集院町下谷口1960-1

鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

健康企画課企画管理係 担当 椀山，平峰

電話：099-273-2332 FAX：099-272-5674

Email：kago-kenko-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp

令和2年11月25日

鹿児島大学病院長 様

鹿児島保健医療圏地域医療構想調整会議
高度急性期及び急性期専門部会長

鹿児島保健医療圏地域医療構想調整会議第7回高度急性期・急性期専門部会
の協議結果について（御連絡）

地域医療構想の推進につきましては、日頃から御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、令和2年11月19日に開催した標記専門部会に際しましては、御多用のところ
貴院から御出席及び御説明をいただき、ありがとうございました。

当専門部会の協議結果につきまして、下記のとおりお知らせします。

記

令和4年4月1日付けで回復期20床を急性期に変更することについて、当専門部会
としては妥当と考える。その旨、12月10日開催の部会長等会議へ報告する。

<事務局>

〒899-2501 日置市伊集院町下谷口1960-1

鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

健康企画課企画管理係 担当 椋山, 平峰

電話：099-273-2332 FAX：099-272-5674

Email：kago-kenko-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp

令和2年12月8日

小田原病院長 様

鹿児島保健医療圏地域医療構想調整会議
回復期専門部会 代表

鹿児島保健医療圏地域医療構想調整会議第3回回復期専門部会の協議結果
について（御連絡）

地域医療構想の推進につきましては、日頃から御協力を賜り感謝申し上げます。

先日は、令和2年10月26日付け文書で依頼しました病床の医療機能の変更を予定している理由につきまして御回答をいただき、ありがとうございました。

回復期専門部会において、貴院の御回答について協議しましたので、下記のとおり協議結果をお知らせします。

記

現在過剰である慢性期から不足している回復期への変更であること、また、現時点で回復期機能相当の医療需要の増大が見込めていることから、当専門部会としては妥当なものとする。その旨、12月10日開催の部会長等会議へ報告する。

<事務局>

〒899-2501 日置市伊集院町下谷口1960-1

鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

健康企画課企画管理係 担当 椋山，平峰

電話：099-273-2332 FAX：099-272-5674

Email：kago-kenko-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp

令和2年12月8日

高田病院長 様

鹿児島保健医療圏地域医療構想調整会議
回復期専門部会 代表

鹿児島保健医療圏地域医療構想調整会議第3回回復期専門部会の協議結果
について（御連絡）

地域医療構想の推進につきましては、日頃から御協力を賜り感謝申し上げます。

先日は、令和2年10月26日付け文書で依頼しました病床の医療機能の変更を予定している理由につきまして御回答をいただき、ありがとうございました。

回復期専門部会において、貴院の御回答について協議しましたので、下記のとおり協議結果をお知らせします。

記

現在過剰である慢性期から不足している回復期への変更であること、また、現時点で回復期機能相当の医療需要の増大が見込めていることから、当専門部会としては妥当なものとする。その旨、12月10日開催の部会長等会議へ報告する。

<事務局>

〒899-2501 日置市伊集院町下谷口1960-1

鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

健康企画課企画管理係 担当 椋山，平峰

電話：099-273-2332 FAX：099-272-5674

Email：kago-kenko-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp